

# 北アルプス・天狗原～かみすき山牧場スキーツアー

2008年4月11日(金)夜～12日(土)

メンバー：Take、T(記)

天気：小雨のち晴れのちガス

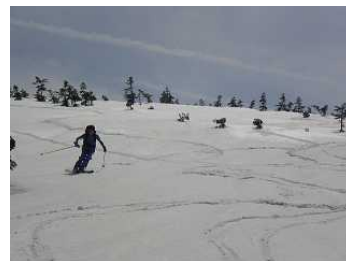
自宅20:45発、大津SAにてTakeさんと合流(22:00)梓SAにて仮眠(1:30～6:00)時折小雨がぱらつく中、梅池 Gondola PA に8:00到着。

8:40 Gondola 乗車、上部 Gondola 終点(9:30)から、30分ほどでガスが晴れ、梅池自然園に向かってしていると判明、進路修正し、右大斜面上部の人影を追い、大汗かいてシール登行、上部岳樺にて追いつく。先着のTakeさんは「熊」を見たとのこと。人影の主は、以前ここで疲労凍死した仲間の追悼とのこと。さらに、右へ緩くトラバースして、天狗原へ(11:30)。

眺めを楽しみながら、大休止ののち(12:10)スキーヤーが列なす白馬乗鞍大斜面に後ろ髪を引かれながら、標識を追って風吹尾根方面へ進む。殆んどは蓮華温泉行きらしく、数本のシュプールしかない風吹尾根を滑り、フスブリ山(13:00)へ。



さらに、木地屋への標識・シュプールに導かれぬよう注意して、左緩斜面を巻き気味に、風吹大池へ(13:40)。



小池のみが青く見える。このあたり、夏は小池であろうすり鉢状の地形が面白い。さらに簷岳への途中でとうとうガスに包まれ、3本のシュプールと北小谷への標識を頼りに進む。簷岳付近より、少し左に振ってから、簷岳北面大斜面とおぼしき急斜面を降りてゆく。たびたびズレ落ちるシャブ雪に不安を覚え、左方の疎林を滑る。傾斜が緩くなったあたりで右方に滑るも、なかなかシュプールに再会できず、さらにはでかいデブリにもでくわし、時刻も遅いし、ちょっぴり不安になる。尾根西側面をトラバースしていると判断、シールで斜上し、蒲原山とおぼしき雪頂より、牧場の方角へと進むと、やっとシュプール・標識に再会、ほっとする。もし、GPSがあれば心強かっただろう。

さらに緩い尾根をしばらく進んだのち、どんどん林間を滑り下って、かみすき林道に入る。広大な美しい牧場雪原を通るはずであるが、ガスのため、パスしてしまったのが残念だ。しばらくは、林道をショートカット、ガスが切れ、下方の眺めも開けてきて、しばし快適なダウンヒルだ。最後は、杉林を強引に下り、小沢を渡り、あとは林道の雪を拾い、除雪終点の牧場小屋へ(17:30)。

タクシー(¥6000)を呼び、梅池PAへ。温泉に入り、途中で飯を食って、道の駅「白馬」にて車中泊。

このコース、良いのだが、緩くて短いが登山り返しが多数あるのが、玉に傷といったところだ。もう少し早い時期に、パウダーで視界の良い時に再訪してもいいなと思った。

